

さらに、この地には、エアルの元々の奏甲があり、コクピットには彼女の英雄（クローバートという名でした）の「残骸」があります。

②ケーニヒ・ブリッツ

ココの乗った奏甲です。剣橋のところにいます。その来歴は不明ですが、「ミリアルデ・ブリッツ」の同型機のようなです。

③蟲たち

沼に在る蟲どもも、実は、エアルの魔法で隠されています。沼を探索しても、声だけで、いっこうに姿を見かけなかったのもそのためです。

これは彼女が、自分以外のものに蟲を退治させたくないという、深層意識の現われでもあります。蟲たちはエアルの魔法で低活動状態に陥らされていましたが、彼女の感情のたかまり（月が満ち始めたためです）とともに、活動を始めました。

奇声蟲たちは現在、古城の東にある、沼に囲まれた平地のヘックスにいます。

●エアルたちとの遭遇

遅かれ早かれPCたちは、エアル+ココに橋のところで遭遇することになるでしょう。PCたちは先の、のされた英雄と同じように、ココに挑戦されることになります。

戦闘を通常通り解決してください。ココはケーニヒ・ブリッツに搭乗し、トゥルー・ジャベリンという魔法の武器を使用しています。トゥルー・ジャベリンの効果は、ダメージが+1D10されることと、装備への命中によっては破壊されないという2つです。

PCたちが望むなら一騎討ちを拒否し、全員で戦うこともできます（得られる経験点は少なくなります）。あるいはティナ（ココの歌姫）がいるなら、会話に巻き込むこともできるでしょう。

戦闘に勝利しなくても、エアルはPCたちの資質を認め、PCたちに、奇声蟲退治への協力を依頼します。また、戦闘で生じたキャラや奏甲へのダメージは、戦闘終了時にすべて回復します。抵抗チェックに成功すれば、幻影の中で戦わされていたのだと分かります。

エアルの申し出を受けるかどうかはプレイヤー次第ということになりますが（ここでプレイヤーたちがどうするか決断する前に相性チェックを行うと良いでしょう）、エアルは貴族種の蟲のことを告げ、奴を倒さなければ、今晚にも村は壊滅するだろうと告げます。また、PCたちだけでは、貴族を倒すのはかなり大変だということは告げられなくても分かるでしょう（必要なら蟲知識のスキル・チェックを行い、成功したら貴族のデータのあらましを教えてあげてください）。

エアルは明らかに幽霊の姿で現れます。透き通った女性の姿なので。しかし、ココはそのことを指摘されても、何を冗談言っているのさ、と笑うばかりです。

エアル自身も、自分は幽霊だとは思っていません。なぜ数百年も生きているのかなどという論理的な矛盾には気付いておらず（実際には、まだ歌姫大戦の最中であり、自分の英雄が死んでから1年も経っていないと思っています）、指摘されても「バカなことを言わないで」などと言って動じません。エアルにヴィオレッタのことを聞くと、彼女は安全なところにいる、と告げ（マスターは彼女に場所を教えさせてしまっても構いません）、彼女に貴族たちのことを「聞いた」のだと言います。

ココと遭遇した時に、ティナ（意識は無いでしょうが）をつれていると、ココの呪縛が解けてしまいます。ココはエアルに「彼女に何をしました！ お前は何者だ！」と詰め寄りますが、エアルが「仕方の無い子

ね…」といって手を振ると、意識を失って、ティナと同じ状態になってしまいます。

以後、貴族との戦闘では、ケーニヒ・ブリッツにはプレイヤーが（！）乗らなくてはならなくなるでしょう。

●貴族退治

エアルと合意ができたか否かに関わらず、PCたちは貴族退治に向かわなくてはならないでしょう。逃げるとか増援を呼びに行くという現実的な対応方法もありますが、あまり英雄らしくはありません。エアルは合意が成ったかに関わらず、貴族のいる場所を教えてください。

貴族の穴に向かう途中、PCは何度も蟲の衛兵や羽つきと遭遇します。しかし、エアルがPCたちの姿を隠してくれるので、実際に戦う必要があるのは、その内の1グループだけです。蟲の衛兵2匹+羽付き2匹との戦闘を解決してください。

パーティのレベルが低い場合は衛兵2体とだけ戦います。蟲、および後述の貴族のデータは基本ルールブックを参照してください。

エアルと合意に達していなくても、霧のおかげで遭遇は最低限におさえることができます（隠蔽スキルのチェックで回避可能としてください）。

衛兵との戦闘は、通常通り解決します。時間が無い時は、はしょっても構いません。

貴族の穴につくと、いよいよ貴族との戦いです。

もっとも、沼全体がエアルの結界の中なので、PCたちはかなり有利に戦うことができます。また、この戦闘では、クリティカルとファングルのルールを使用します。

ココのブリッツは、常に前衛を引き受けてくれるものとします。

①まず、貴族はPCが見える前からその気配を察し、奇声を放ち始めます（距離4ヘックスで戦闘を開始してください）。PCのレベルが低い場合（PCが1レベルの場合や、英雄能力のルールを使用していない場合）、PCはエアルの保護によって、奇声の効果一切を無視できるものとしてください。そうでない場合でも、奇声の効果を受ける時間は通常の半分で済みます（効果時間がある場合）。

②エアルは霧でPCの奏甲の姿を、貴族からは見えにくく隠してくれます。ゆえに、常に貴族の命中値に-30することができます。PCのレベルが低い場合は、貴族のダメージを半分にするか、命中値が半分になる（牙が45、爪が60）ものとしてください。

③霧のせいで、周辺の貴族の手下は駆けつけることができないものとします。

貴族を倒すと、エアルは深いため息とともに成仏します。謎解きがすべて終わっていないなら（ココの歌姫やヴィオレッタの所在など）、ここで「質問タイム」を設け、解決してください。ココがいるなら、ブリッツはココのものにするのが適当ですが、一番働きのあったPCに、譲らせても構いません。

その場合、ココは、「ボクより貴方の方がふさわしいようですし、ボクとティナは因縁の無い、僕たちにふさわしい奏甲を探しに行きます」と言うことにしてください。

ヴィオレッタは普通に感謝してくれることでしょう。

希望するなら、マスターは、最後に今回の事件の感想（あるいはエアルという歌姫）について、相性チェックを行ってください。